

令和7年度 人権週間・障害者週間のつどい

出席者180名（回答135名）

1 年齢を教えてください。差し支えない範囲でお答えください。【年齢】

<input type="checkbox"/> 10歳代	0名	【 0%】
<input type="checkbox"/> 20歳代	4名	【 3%】
<input type="checkbox"/> 30歳代	8名	【 6%】
<input type="checkbox"/> 40歳代	16名	【 12%】
<input type="checkbox"/> 50歳代	33名	【 24%】
<input type="checkbox"/> 60歳代	32名	【 24%】
<input type="checkbox"/> 70歳代	31名	【 23%】
<input type="checkbox"/> 80歳以上	11名	【 8%】
<input type="checkbox"/> 無回答	0名	【 0%】

2 あなたのお住まいはどこですか。

<input type="checkbox"/> 笠岡市	91名	【 67%】
<input type="checkbox"/> 里庄町	9名	【 7%】
<input type="checkbox"/> 浅口市	10名	【 7%】
<input type="checkbox"/> 井原市	6名	【 4%】
<input type="checkbox"/> 矢掛町	5名	【 4%】
<input type="checkbox"/> 倉敷市	6名	【 4%】
<input type="checkbox"/> 岡山市	0名	【 0%】
<input type="checkbox"/> その他県内市町村（ ）	3名	【 2%】
<input type="checkbox"/> 福山市	4名	【 3%】
<input type="checkbox"/> その他県外市町村（ ）	1名	【 1%】
<input type="checkbox"/> 無回答	0名	【 0%】

3 今回の講演会を、どのようにしてお知りになりましたか。（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 笠岡市ホームページ	10名
<input type="checkbox"/> 笠岡市公式LINE	25名
<input type="checkbox"/> テレビ（ ）	7名
<input type="checkbox"/> チラシを見た（ ）	46名
<input type="checkbox"/> 広報かさおか	21名
<input type="checkbox"/> 知人、家族から聞いた	31名
<input type="checkbox"/> その他（ ）	23名
<input type="checkbox"/> 無回答	4名

4 講演会に参加して、人権問題についての関心や理解は深まりましたか。

<input type="checkbox"/> 大変深まった	91件	【66%】
<input type="checkbox"/> ある程度深まった	33件	【24%】
<input type="checkbox"/> 深まった	11件	【8%】
<input type="checkbox"/> あまり深まらなかった	0件	【0%】
<input type="checkbox"/> 深まらなかった	1件	【1%】
<input type="checkbox"/> 無回答	1件	【1%】

5 講演会に参加して、障がいについての関心や理解は深まりましたか。

<input type="checkbox"/> 大変深まった	95件	【70%】
<input type="checkbox"/> ある程度深まった	26件	【19%】
<input type="checkbox"/> 深まった	10件	【7%】
<input type="checkbox"/> あまり深まらなかった	1件	【1%】
<input type="checkbox"/> 深まらなかった	1件	【1%】
<input type="checkbox"/> 無回答	2件	【1%】

6 講演を聞いて、考え方などに変化がありましたか（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 困っている人の役に立ちたいと思った。	55件
<input type="checkbox"/> 家族、友人、仲間を大切にしようと思った。	67件
<input type="checkbox"/> 多様な生き方を尊重しようと思った。	84件
<input type="checkbox"/> 人権問題について理解を深めたいと思った。	60件
<input type="checkbox"/> その他（ ）	8件
<input type="checkbox"/> 無回答	6件

7 講演会の内容は、満足のいくものでしたか。

<input type="checkbox"/> 大変満足	102件	【75%】
<input type="checkbox"/> おおむね満足	30件	【22%】
<input type="checkbox"/> やや不満	1件	【1%】
<input type="checkbox"/> 大変不満	0件	【0%】
<input type="checkbox"/> 無回答	3件	【2%】

8 今後もこのような講演会を行うべきだと思いますか。

<input type="checkbox"/> 積極的に行うべき	99件	【73%】
<input type="checkbox"/> 時々行うべき	32件	【24%】
<input type="checkbox"/> 改善するべき（理由：	1件	【1%】
<input type="checkbox"/> 無回答	3件	【2%】

9 今回の講演内容で心に残った言葉やご感想をご記入ください。

10 講演会へのご意見・話を聞いてみたい講師などございましたら、自由にご記入ください。

9 今回の講演内容で心に残った言葉やご感想をご記入ください。

感 想
寛容な社会に！！
「障害を持つ息子へ」の歌が、とても心に残りました。 誰でも生きる価値はあるのだ。
撮影禁止と言われていたのに話を聞いてない方が(老人) ご夫婦が何度も撮影され残念だった。自分の物差しで相手の命を奪ってはいけない。
講演もよかったですが、最後の歌にとっても心打たれました。 (障害のことを気にかけず、普通に暮らせる社会になればと思います。) 障害のある人が笑って楽しく生きていける笠岡市になればいいと思います。
子育ての苦労を支援する必要性がわかった。
最後の歌にすごく感動した。すべてのことが歌で表現されている。 写真もみな素敵でした。
障がいのある人が生活しやすい環境はだれもが生活しやすい環境 まわりまわって自分のためになる。
障害をもっても普通の子、楽しそうにしていると聞いて、その子それぞれの生き方があり、 その子それぞれの楽しみ方があるんだなと思った。生きやすい社会になってほしい。
障がいの有無にかかわらず、一人の人間として生きることができる社会が必要であり、 そのような社会を地域で作っていかなければならないと思いました。障害に対する知識を深め、 誰もが自分ごととして考えなければならぬと感じました。
「ネガティブケイパビリティ」答えが出ないことにたえる力。 最近は何でも答えを出したがるな～と思います。
現代社会だからこそころ起っている社会問題がたくさんある。様々な報道があるが、 もっと社会、地域で考えていくべきことが報道されて考えるきっかけになる。 考える人が増える社会になればいいなと思った。
役に立たない人間はこの世の中に必要ないと云う考え方が正当だと認める社会に してはいけない。人は誰でも最後は動けなくなり、役に立たなくなる。
当初あまり期待していなかったが、話を聞いている内に今までの公演にない内容を 知ることができ、大変有意義であった。(今の時代にマッチした差別がよく理解できた)
息子にあてた手紙(facebookの記事)手話もすごく良かった。 ラジオ・映画・うたも家族とみてみたい。
山ゆり園の被害と話された内容がとても印象的でした。 浅はかな線引きを自分もしていないか見つめなおしたいと思いました。
他人事ではないです。誰にも名前や顔や心はあります。生きる権利は本人のもの。 尊厳すべきもの。ご講演、心の琴線を震わしました。ありがとうございました。
子どもを殺してしまおうと思うお母さんがいなくなるよう この仕事をがんばっていきましょうと思いました。
植松の「心失者」という言葉がひっかかった。心を失ったというのは 非常に重い言葉だと思う。植松自身も障害があったのでしょうか？
誰もが貴い存在であるということを心に留めておきたいと思いました。 とても良かったです。ありがとうございました。
植松を許すと大変な世の中になる。「気持ちは分かるけど」はダメ (そのままで、いい それでうちの子 それがうちの子)私の息子には名前も顔も有る ♡貴重な内容のお話をありがとうございました♡ 福山城と一緒に見れて良かったですネ♡
共に成長して行く事がよくわかりました。 社会全体が優しい社会になる事を願っています。

植松は「障害者を刺しに来たんじゃない。ボくらひとりひとりを刺しに来た」 どの人も同じなんだということを改めて強く感じた。
誰かの尊厳をうばうことは、殺人と同じ。「そのままでいい」心に残りました。 障がいについては、周囲の理解が大切だと感じたし、分からないことを差別するのではなく、 知ろうとすることが必要だと思う。
自閉症とはよく耳にしていたが、内容は全然知らなかった。それが分かって良かった。 良かった話。差別について考えさせられた。考えさせられた内容。 植松人間として残酷極まりない。
親が教員だったのに、こういう考えを持った子供になったことにショックも受けましたが、 どうしてこういう考えに至ることになるのかわかりません(むずかしいです)
答えのない状況に耐える。
友達の子供さんが自閉症で一度会っただけですが、奇声を上げたり、人に出したお菓子を かってに食べてしまったりとびっくりしました。自閉症では当たり前のことだとわかりました。 我が子も総合失調症で通院しています。
自閉症の行動理解が少しできました。誰でも生きるかちはある。差別はいけない。
障害を持つ長男と二人三脚の記者人生・障害をもついても差別が 人生を変えてしまうことがある。生きる幸せがある。
あなたが生まれなかったら、今の私たちではないのだね。
差別
とても貴重なおはなしでした！有難うございました！
福祉関係の事務所として職員の障害への理解、人権教育が大切だと感じた。 地域社会に対しても同様に思った。
・子どもの価値は半分ですか？ ・出産と言うような苦しい経験をしていない。 ・父親に期待するのはむずかしい。 ・やはり母親が頑張らないと。 手をつなぐ育成会等の団体を知るべきネットワーク作り 名前も顔もある 特別な人ではない 言葉にだまされてはいけない まだ生きているよ！
子どもには罪はない。心失者。不寛容な社会 ・許容範囲が広い社会が求められる。 ・障害者は見たり、話したりするとこんな人たちはいない方がよいと思う人が出てくる。 多種多様な人たちがいて、社会が成り立っていることをだれでも理解しないといけない。 津久井やまゆり園事件もポイント
「そのままでいい」「誰でも生きるかちはあるんだ」
植松被告に対する神戸さんの努力がいたいほど伝わった。
・わが子を殺した母の罪はそこまで精神を追いやった地域・施設の問題である ・すぐ答えを求める今の時代が問題である
障害児を産み育てる偉大な母を心から敬い応援？したい！！ 理解し合いたい。神戸講師の詩、すべてが込められていますね。大感動！！
障害のお子さんやこの事件によって、神戸さんの生き方を試されているのだと感じました。
人生をもっと肯定する。差別は人を殺す。人間っておもしろい。
落とした物をひろって届けた感覚で犯罪をおこした植松受刑者の考えや言動にショックを うけました。障害のある子を生んだ母の気持ちなど心がえぐられるようでした。 全ての話が心に刺さりました。そして人を大切にしたい気持ちが深まりました。 形だけの福祉にならないように！絶対そうならないようにしたいです。

全体を通して神戸さんの言葉でひるんだ経緯も含め話してくださったので、しっかりと心まで届きました。障害とは何なのか？表面的なことだけではなく、深く理解し落とし込んでいきたいと思いました。
「答えの出ない社会」「大丈夫」と安易に声をかけるべきではないと思いました。
「私の代わりに障害を持ってくれたんだ」という意味合いの部分 ※「誰もが、障害を持つ、多少の障害を持っている」ということを認識して、他人に接する大切さ。
感動しました。
障害は誰でもなるかもしれない。いつどこでなんてわからない。 どのような人生を送ることとなるかなんて誰にもわからない。 やはり困った人、子供、老人などの方々に、親切にしていきたいと思う。
差別という言葉は難しいです 「0か1で考えない」ですねと感じました。
自閉傾向にいる子は普通にいる
答えの出ない状況に耐える力
心失者という言葉を目にしたのは、今日が初めて。心を失う人が本当に存在するのか 障害のある人も、心はあるのではと、今後の人生をどう人と接するのか 本日の講演、有難うございました。
そのままでもいい
人より早く障害がでていただけ
寛容な社会でありたい
寛容な社会であってほしいということが印象にのこりました。
からちだけの福祉
当事者としてジャーナリストとして、リアルなお話は胸に詰まるものがありました。 他人事ではなく自分事として、そして今自分は何ができるのか。 問いかけていきたいと思います。
誰でも生きる値があると思えない若い(自分には生きる値打ちがあると確信を持ってない) 人たちが増えているのではないか 全ての人自分が自分に自信をもって生きられる社会が誰にでも寛容な社会なのでは。 ありがとうございました。
「あと10年がんばります。そこでダメなら一緒に逝きます。」 いつも頭にある言葉です。どれだけしんどいかは当事者でないとわかりません。 同じところにいる人のインタビューが聞けて、ああ仲間だと思いました。
直接障害児を持つ人であり、報道関係に携わっている立場からの接し方、話がきけて、 社会的な訴えの1つと感じた。
自閉症の子をもっている親として参考になる事が多いにあった。
「差別は人を殺してしまう」地域の理解を促すことが大切だと切に思った 「誰でも生きる価値はある」人と人がかかわり合ってお互いに大切に思い合う社会に していきたいと感じました。
「役に立たない人間はいらない」と思われない社会をつくり続けたいといけない。 障害があるお子さんを育てておられるお母さんの「人にたくせない」気持ちと孤独。 同じ親として切なかったです。

社会的な事件を元に専門家からの意見や自分の考えを照合すること
今日の講演ほど「命」や「生きる」ことについて考えさせられる講演はなかったです。寛容な社会を創っていくため、力を尽くそうと感じました。
“人生は肯定すべきもの”“誰でも生きる価値がある”ことを大切に。明日からの人生に心に刻んでいきたいと思いました。仕事にもその意識をもって関わっていききたいと思います。
“誰もが生きる価値がある”という言葉 最後に聞いたとき、ほっとした。 よく言われることだが重みを感じた。 やまゆり事件の犯人に明確な意思があったこと、予備軍がたくさんいることに恐怖を感じた。
・誰でも生きる価値はある ・障害のある人も自分も同じ
人権とは、一人一人の尊厳を守ること。一人一人を大切にすることと改めて考えさせられました。日常の差別やいじめ、ハラスメントに負けないよう生活していきたいです。
支援者が何が分かっているのかを理解して伝え、支援していくことが大切ということばに我々の支援を振り返る思いがした。
障害があることは他人事ではなく、自分自身が障害者になる、高齢になる前提を思うと、この社会で生きていくことの心苦しさを感じました。グレーゾーンの子だけでなく、グレーゾーンの大人が、一般の仕事をする上でも、合理的配慮があれば、誰でも暮らしやすい職場になると思いました。
障害を持つ子どもの親としての心情がわかりやすく。 少しでも保護者の気持ちを知ることができたと思った。
僕より先に障害を持ってうまれただけという一言が印象に残りました。
実際の話なので心に残りました。 障害がある人が身近におられるので少しでも役に立てたら。
実体験にもとづいた話にひきこまれました。答えがすぐに出ないとダメという言葉にすごく共感しました。すぐに答えの出ないものにたえる力なくなっている気がします。 障害のある母子と接する機会の多い仕事なので、もう一度想像して（背景を）接していきたいと思います。ありがとうございました。
障害の具体的な話ではなく、当事者のリアルな話が聞ける話は、なかなか無いので、聴く方々もより身近に感じることでよかったです。自身が、障がい児（グレー）の子育てをしているので心が痛くなる内容が多かったが、障がい児に関わっていない方に、この講演を聞いて頂きたいと思った。
雲仙普賢岳の本で神戸さんを知り、数年前に定点まで行きました。火砕流のお話ではないですが、直接神戸さんの講演を聞くことができて感激しました。
・もっと社会に寛容になるべき・形だけの福祉ではなく、何のために、誰のためにというリアリティを持って障がい者、高齢者に接する ・人間は数字だけで生きているのではない。インクルーシブ、みんなの学校のように地域の力、学校の力を高めながら子どもたちを育てていきたい
やまゆり園の事件を起こしたうえまつ容疑者が普通の青年に見えたと言われた神戸先生のお話しそして三人の子供を殺害した母親が実は自分が障害者差別をしていた事で痛ましい事件が起こったと言うお話し 変わらない事実を認める難しさ今一度考えたいと思いました。今日のお話しの中で初めて聞いた言葉や取り組み、本なども少し自分なりに勉強したくなりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
障害を持つ子どもの父親として、また記者の視点から社会をどう変えるべきなのか等、為になる話が多く聞けた。ラジオや動画を見てみたいと思います。
高齢者が行きやすい場所は障害者が行きやすい場所である。
母親がこどもに手をかけた事件には自閉症の関わりがあった

10 講演会へのご意見・話を聞いてみたい講師などございましたら、自由にご記入ください。

感 想
障害者が認められる世の中になり、住みよい日が来ることを願う。
勉強になりました。ありがとうございました。
貴重な講演会で関心がより深まりました。
住みたい町笠岡になる様にして下さい。
障がい・福祉に興味がある人が来ていると思う。 障がいに差別を持っている人に聞いてもらえる機会をつくってほしい。
少しでも早く、少しでも多く、障害に対する理解者ができて、医学的にも改善される時が来る事を心より望んでいます。
新聞記事などの資料が多くあり、開演までの待ち時間に読むことができて良かったです。
ものすごく良かったです。
久しぶりに講演会に来ました。心の奥まで届く講演でした。
「こだわり」という言葉を使って欲しくない
日頃のニュースや新聞、ネットニュースを見ますが、実際の真実等を改めて知ることができたように思います。
かねやんの歌を聞いた時、わが子に思っていた詩そのものでした。
貴重な言葉をいただきました。ありがとうございました。
神戸さんの話をもっともったときかせてほしいです。
衝撃的な事件の殺人者と話を聞いて、いろんな思いがありました。 障害を持つ親子の気持ちを聞くこともありありますが、よりいっそう支え、話を聞いていければと思いました。
とてもいつもの日常生活がおくれていることの不思議さを改めて考えているところです。 本日はどうもありがとうございました。
①質疑応答の最初の事前質問の意図が今回の講演の意図と全くあっておらず、不適切でした。 ②開催時間は守って欲しいです。③質疑応答は不要でした。
今は考えることができません。聞きたい講演を待っています。 やまゆり園、植松という人と同じ感じの人が身近にと。
自閉症への理解
地域の人、社会の人にこういうリアルな話しをきくべき。理解を深めることが大事。 こういう機会が沢山あれば良い。
グループホームでも集合住宅でもいいので一人で生活できる場所を地域で作っているところがあったら(あるのかな?), 運営にかかわっている人の話がききたいです。
メディアに出ている有名なより、本日の講演の方が数倍よかったと思います。 もっとたくさんの人に聞いてもらいたかったと思います。

やまゆり園のリアルな話を対話を通じて感じたことなどを聞き胸が痛くなりました。知らないということが1番怖いことで、向き合うことを知る大切さを感じました。

ありがとうございました。すごく考えさせられるお話でした。

安田浩一さんのお話が聞きたいです。

名前がすぐ出てこないが、大空小学校の初代校長先生の話を知りたい

実話をもとにお話をしてくださり本当に感動しました。
人権・障害を持つ方々に対して…偏見なく関心を待つことを痛感しました。